2022年8月1日発行 毎月1回1日発行 第733号

九経連月報
おすの九州・山口
KYUKEIREN MONTHLY

2022
8
August

巻頭言 中長期目線の活動でより良い九州に

理事・行財政委員長　村上 英之〔(株)西日本シティ銀行 頭取〕

活動報告 創立60周年記念式典を開催し「幸せコミュニティ」指標を公表

第62回定時総会・第170回理事会・創立60周年記念式典

農林水産物・食品の輸出拡大に向けた諸規制の緩和、脱炭素社会実現に資する
国産木材の利用促進などの要望活動を実施

農林水産委員会



おきなわ昆虫ナイトサファリ(沖縄県：美らヤシパークオキナワ・東南植物楽園)

＼動画はこちらから／

一般社団法人
九州経済連合会

九経連月報
おすの九州・山口
2022/8

CONTENTS

巻頭言

中長期目線の活動でより良い九州に

（一社）九州経済連合会　理事・行財政委員長　村上　英之〔㈱西日本シティ銀行　頭取〕… 1

九経連活動報告

創立60周年記念式典を開催し「幸せコミュニティ」指標を公表

第62回定時総会・第170回理事会・創立60周年記念式典 … 2

農林水産物・食品の輸出拡大に向けた諸規制の緩和、
脱炭素社会実現に資する国産木材の利用促進などの要望活動を実施

農林水産委員会 … 4

日誌（6月） …… 5

講演要旨

「幸せコミュニティ」の実現に何が必要か～試練や困難にも負けないウェルビーイングの本質～

㈱日立製作所 フェロー／㈱ハピネスプラネット 代表取締役CEO　矢野　和男 … 7

トピックス

九州将来ビジョン2030に基づく「幸せコミュニティ」指標を公表
～「共生・共感・共創アイランド九州」の実現に向けて～ …… 8

会員紹介

木徳神糧株式会社 …… 10

株式会社九州日新 …… 11

九州日本香港協会 …… 12

沖縄観光通信

～ミス沖縄がおススメする沖縄観光情報～　沖縄空手会館 …… 13

九州・山口地域動向

… 14

表紙説明・スケジュール（8月）・新入会員企業（6月）

… 17

巻頭言

中長期目線の活動で より良い九州に



（一社）九州経済連合会　理事・行財政委員長
村上　英之
〔㈱西日本シティ銀行　頭取〕

「人間の影響が大気、海洋及び陸域を温暖化させてきたことには疑う余地がない」―2021年８月、IPCC（気候変動に関する政府間パネル）の第６次評価報告書において、地球温暖化の原因が人間にあることが断言され話題になりました。

九州においては、令和２年７月豪雨での筑後川や球磨川をはじめとする九州内全域にわたる河川の氾濫などの災害は記憶に新しいところです。私の出身地・大分県日田市では観測史上最大の雨量を記録し、玖珠川の氾濫や土砂崩れなどで大きな被害を受けました。

日本を含む多くの国々は、「2050年カーボンニュートラル」を長期目標に設定し、日本は中期目標として「温室効果ガスの排出量を2030年までに2013年度比46％削減を目指すとともに、さらに50％の高みに向け、挑戦を続けていく」ことを掲げました。

国や自治体、企業そして人間一人ひとりが温室効果ガス削減の努力を継続し、地球温暖化を食い止めなければなりません。

各企業においてはTCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）提言への賛同や自社のCO_2削減目標設定、さらにはサプライチェーン全体での排出量削減に向けた動きなどが加速しており、脱炭素に向けた潮流は一時的な流行りなどではなく、世の中の不可逆的な動きであると言えます。

西日本FHグループにおいても、2022年３月に、気候変動をはじめとする持続可能な社会の実現に資するサステナブルファイナンスの実行額を2030年度までに累計２兆円とする目標を策定・公表し、お客さまに応じた多様なファイナンス支援等の取り組みを強化しています。さらには当社自身の気候変動に対する取り組みとして、環境配慮型店舗への建て替え等による電気使用量の削減、使用電力の再生エネルギーへの切り替えなどを通じ、「2030年度までにカーボンニュートラル」とすることを目標としました。

将来を見据えたカーボンニュートラルに取り組みながら、毎年のように発生する災害対応も必要です。行財政委員会ではスマートシティモデル構築の推進や地方創生に向けた提言活動、行財政に関する諸課題等に取り組んでいます。検討テーマの中に、「分散型広域連携の促進」がありますが、防災の観点からも広域連携は、安心・安全な九州を実現するためには大変意義があるものと考えています。例えば、オープンデータを利活用した防災への取り組みができないか―など、当委員会のワーキンググループではさまざまな観点から議論がなされています。広域連携は、当事者も多岐にわたる上、考え方も多様であり容易に話が進むものではありませんが、中長期目線に立った議論あるいは活動が行えることは経済団体ならではの強みであると思います。そして、その強みを体現したものが九経連創立60周年を機に策定された「九州将来ビジョン2030」であると理解しています。

九州のありたい姿の実現に向けて、微力ではありますが、一歩でも前進できるよう尽力してまいりますので、ご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

創立60周年記念式典を開催し「幸せコミュニティ」指標を公表

と　き　６月７日（火）
ところ　福岡市・ホテルニューオータニ博多
出席者　総会：270名、式典：300名

第62回定時総会
第170回理事会
創立60周年記念式典

本会は３年ぶりとなるリアルな形での定時総会を開催。続いて理事会を挟み、創立60周年記念式典を１年延期で実施した。記念式典ではご来賓よりご祝辞をいただくとともに、本会が策定を進めていた、幸せで豊かな社会づくりの実施状況を明らかにする「幸せコミュニティ」指標を公表。さらに「幸せコミュニティ」の実現をテーマとした記念講演を行った。

１．第62回定時総会

第１号議案：2021年度収支決算（案）

2021年度も前年度に続きコロナ禍による会員の退会や休会があったが、一方で口数の増加もあり、事業活動収入が予算を若干上回ったこと、また各種会合のオンライン開催への変更や実施見送り、出張機会の減少等により事業費支出が減少したことで当期収支がプラスとなった旨を事務局より説明。異議なく了承された。

第２号議案：理事、監事選任（案）

退任理事３名に対して新任理事３名、退任監事１名に対して新任監事１名を事務局より推薦し、審議の結果、特に異議なく了承された（ホームページに最新の役員名簿を掲載）。

報告事項１：2021年度事業報告

昨年６月の定時総会で「九州将来ビジョン2030」を公表し、次の３つの戦略を活動方針の柱として事業活動に取り組んだ。

【戦略１】地域共創withコロナ

社会経済活動の再活性化のため「九経連会員向け行動指針」を公表した。また、第一次産業生産者支援のため、九州の酪農家応援や福岡市天神でのマルシェ出店、地産地消推進事業「九州食堂」などを実施した。

【戦略２】ありたい姿実現に向けたチャレンジ

産業イノベーションとして、ベンチャー・エコシステム構築、地域企業のDX加速、生産性向上と労働負荷の軽減など農業を変える取り組みを実施した。また、戦略産業の育成・誘致や国際金融機能の誘致、さらにグリーン成長に関しESG投資の環境整備や政府のエネルギー関連政策に関する要望を実施した。

アジア活力の取り込みに関しては、コロナ禍の下で、交流人口拡大のため「ツール・ド・九州」や「九州・長崎IR」の誘致実現に向けた動き、海外展開プラットフォームとしての「九州プロモーションセンター（KPC）in ハノイ」に関するウェビナーや「環黄海経済・技術交流会議」を実施した。

さらに「人を惹きつける取り組み」として、農林水産業の魅力づくりや観光・まちづくりの取り組みを行うとともに、共助社会形成の取り組みとしては、「九州ジェンダーギャップ指数」を公表し、幸せで豊かな社会づくりの実施状況を明らかにする「幸せコミュニティ」指標の策定を行った。また、累計で４回目となる「KYUSHU NEXT」を開催した。

【戦略３】みらいへの投資（基盤整備）

成果が出るまでに期間を要する基盤整備として、分散型・広域連携、データ駆動型社会の基盤整備や交通インフラ整備、新たな広域行政の枠組み整備を行った。

報告事項２：2022年度事業計画・収支予算

第１期中期計画（2021～2023年度）の２年目として「九州将来ビジョン2030」に掲げた３つの戦略（「地域共創withコロナ」「ありたい姿実現に向けたチャレンジ」「みらいへの投資（基盤整備）」）の遂行に向けた活動を一層強化し、具体的な成果につなげていくこととした（詳細は５月号とホームページに掲載）。

２．第170回理事会

定時総会での長尾成美専務理事の退任を受け理事会を開催。後任の専務理事に平井彰常務理事・事務局長を、常務理事に堀江広重理事（西日本鉄道㈱顧問）を、事務局長に升本喜之観光社会基盤部長をそれぞれ事務局より推薦。審議の結果、満場一致で了承された。

３．創立60周年記念式典

定時総会と理事会に引き続き、会員の皆様や政財界、外国公館などご来賓の方々のご臨席の下、創立60周年記念式典を開催した。

開会挨拶（倉富会長）

「本会は1961年の創立以来、『九州はひとつ』という基本理念に基づいて多面的な事業に取り組んできた。九州経済最大の課題だった高速交通体系の整備に関しては、ようやく循環型高速道路ネットワークが完成しようとしており、それに伴い産業構造も大きく変貌した。自動車産業やIC産業が集積する一方で、近年では第一次産業や観光産業の振興に一段と力を入れて取り組むようになってきた。

また歴史的にも地理的にも九州とつながりが深いアジア諸国・地域との経済交流にも力を注いできた。コロナ禍からの早急かつ力強い経済復興は、諸外国との往来による関係強化なしにはあり得ない。

今日、世界的に環境問題がクローズアップされ、SDGsを中心に企業活動のあり方をはじめ、社会経済システムの大きな見直しが迫られている。これからはダイバーシティを尊重しつつ、DXやGX、さらにはCX（企業の改革）という概念を効果的に取り入れながら、誰もが『行きたい』『住みたい』九州の実現を目指していかなければならない。



九州の明るい未来は私ども現役世代に懸かっている。改めて『九州はひとつ』の理念の下、『九州から日本を動かす』強い意志を持って、皆様とともに尽力してまいりたい」

来賓祝辞

記念式典では、牧島かれんデジタル大臣と広瀬勝貞九州地方知事会会長からビデオメッセージでお祝いのお言葉を頂戴するとともに、ご来賓を代表して井上貴博衆議院議員（自由民主党副幹事長）、服部誠太郎福岡県知事、十倉雅和（一社）日本経済団体連合会会長（代読：藤原清明専務理事）からご祝辞をいただいた。

また各県知事をはじめ政財界や会員の皆様などから多数祝電やご祝意をいただいた。



牧島かれん
デジタル大臣



広瀬勝貞
九州地方知事会会長



井上貴博
衆議院議員



服部誠太郎
福岡県知事



藤原清明
経団連専務理事

「幸せコミュニティ」指標公表

昨年５月に本会が公表した「九州将来ビジョン2030」で提唱し事務局で策定を進めていた、幸せで豊かな社会づくりの実施状況を明らかにするための「幸せコミュニティ」指標を公表した。基本目標として国の想定を上回る経済成長（全国1.3％、九州2.1％）を達成し、2030年の１人当たりGRP500万円を目指すこととした（本誌８～９ページに詳細を掲載）。

記念講演

「幸せコミュニティ」指標の公表に関連して、㈱日立製作所フェローで㈱ハピネスプラネット代表取締役CEOの矢野和男氏より「『幸せコミュニティ』の実現に何が必要か ～試練や困難にも負けないウェルビーイングの本質～」と題してご講演いただいた（本誌７ページに講演要旨を掲載）。　【総務広報部　岡】

農林水産物・食品の輸出拡大に向けた諸規制の緩和、脱炭素社会実現に資する国産木材の利用促進などの要望活動を実施

と　き　6月9日（木）
ところ　東京都・農林水産省

農林水産委員会

農林水産委員会では「国の施策に関する要望書 ～九州・山口地域における農林水産業の振興に向けて～」を取りまとめ、金子原二郎農林水産大臣をはじめ同省幹部に対し要望活動を行った。

■主な要望項目

項　目	内　容
共　通	・輸出拡大 ・農林水産業の事業基盤強化および成長産業化 ・新型コロナウイルス感染症等対策として、消費活性化への緊急対策の実施および事業継続支援、行政諸手続きの簡素化
農　畜 産　業	・輸出相手国や地域に対する検疫条件改善、放射能検査の簡素化 ・鳥インフルエンザ発生時の輸出禁止の期間と範囲の緩和
林　業	・国産木材の利用促進 ・森林整備予算の安定的な財源確保
水産業	・養殖業の成長産業化に向け、より具体的な施策の策定 ・水産業への入職者の増加促進策と事業承継の支援策拡充

■要望先（当時）

金子原二郎　農林水産大臣
渡邉　洋一　輸出・国際局長
天羽　　隆　林野庁長官
神谷　　崇　水産庁長官

■要望者（農林水産委員会）

平野　亘也　委　員　長（㈱宮崎銀行会長）
中島　　豊　林業部会長（九州林産㈱社長）
田嶋　　猛　水産部会長（太平洋貿易㈱会長）
大森　伸昭　水産部会副部会長（㈱大森淡水社長）
三木　　孔　農林水産部長（河津善博企画部会長（トリゼンダイニング㈱会長）代行）

■主な発言内容（要望先）

〔共通〕
・要望に対し真摯に対応していきたい。
・九州は輸出に積極的で、大変ありがたく心強い。国もさらに積極的に取り組む。
・輸出の障壁となっている規制について、しっかり調べ、対応していく。
・輸出は各県ごとに取り組んでいる状況。品目団体等、全国組織の窓口を一本化し、まとまって取り組めないかと思っている。



金子大臣（中央）に要望書を手交

〔農畜産業〕
・中国の輸入規制の緩和・撤廃については、日中関係の悪化で調整が困難。中国への九州産米の輸出についても同様。国際会議の場で対話の機会をつくりたい。
・鳥インフルエンザ発生時のさらなる規制緩和は、国際基準があることや相手国との関係もありなかなか難しいが、要望として承る。

〔林業〕
・国産木材の利用促進については、「建築物木材利用促進協定制度」の活用も一考。
・木造建築推進を目的とした建築基準法改正については、今国会でも検討中。
・森林整備予算は、当初予算で確保できるよう、夏の概算要求にて財務省に要求する。

〔水産業〕
・養殖魚の生産から輸出まで一気通貫した司令塔組織の九州設置要望については、日本養殖魚類輸出推進協会の活用も可能ではないか。
・入職者の増加促進については、「経営体育成総合支援事業」の漁業担い手の確保・育成支援制度も活用してほしい。
・ICT化については積極的に推進したい。

【農林水産部　櫻木】

日誌 6月

1日（水）［宮崎市・シーガイアコンベンションセンター］
第41回九州地域戦略会議
出席者：17名

第41回会合が宮崎市で開催され、グリーン社会実現に向けた新たなプロジェクト採択の決議と、農林水産業のさらなる成長産業化に向けた「フードアイランド九州推進宣言」の採択を行った。（7月号既報）

2日（木）［Web開催］
九州国際医療機構幹事会
出席者：20名

冒頭、中島直樹代表幹事（九州大学病院国際医療部部長）による開会挨拶の後、事務局より2021年度活動・収支報告、および2022年度の事業・収支計画について説明。続いて、国際化進捗指標について意見交換を行った。その他、改正民法を踏まえた外国人患者の医療費未収金対策、国の新たな水際対策措置、また代表理事変更による機構の案内冊子改訂について共有した。

最後に、（ワーキングが継続となるため）各リーダーから抱負を、代表幹事からは今年度取り組みへのメッセージを述べていただき、閉会した。

3日（金）、4日（土）［長崎市・ANAクラウンプラザホテル長崎グラバーヒル］
九州デジタル経営塾in長崎
出席者：33名

企業経営のデジタルトランスフォーメーション（DX）に取り組む経営層を対象とした「九州デジタル経営塾」に、長崎県内の企業18社23名が参加し、２日間の合宿形式で開催した。

㈲ゑびや／㈱EBILABの小田島春樹社長の講演「たった一店舗の老舗飲食店がデジタルツールを組織に武装した新しい店舗運営」に始まり、㈱DXパートナーズの村上和彰代表取締役と徳永美紗アドバイザリーパートナーによるワークショップ「『顧客価値起点×デジタル』で皆さんのビジネスを再構築してみましょう！」の受講を通して、DXで実現を目指すデジタル経営の要諦のエッセンスを体験・習得した。

7日（火）［福岡市・ホテルニューオータニ博多］
第62回定時総会・第170回理事会・創立60周年記念式典
※本誌2～3ページ「活動報告」、7ページ「講演要旨」に詳細を掲載

9日（木）［北九州市・北九州国際会議場］
第１回関門連携委員会
出席者：28名

神田一成委員長（㈱山口銀行会長）の開会挨拶の後、TOTO㈱の曾根崎修司ESG推進部主幹より「TOTOグループにおけるSDGsへの貢献」と題し、自社の取り組みや世界の水資源保全などの活動についてご講演いただいた。続いて、㈱YMFG ZONEプラニングより「関門地域の活性化に関する調査報告」、事務局より「2021年度実施状況報告」「2022年度事業計画（案）」について説明のうえ承認いただいた。

今後は、2021年度の調査結果を基に、観光分野での関門連携を実現するため「観光・MICE連携施策」を構築していくこととした。

9日（木）［東京都・農林水産省］
農林水産に関する要望活動
※本誌４ページ「活動報告」に詳細を掲載

10日（金）［Web開催］
エネルギー講演会
出席者：270名

エネルギー資源価格の高騰やウクライナ危機などを踏まえ、（一財）日本エネルギー経済研究所専務理事首席研究員の小山堅氏を講師に迎え、「激動する国際エネルギー情勢の展望と課題」と題した講演をWeb配信した。

講演では、カーボンニュートラルに向けた動きやエネルギー価格高騰の状況、エネルギー市場におけるロシアの影響と各国の対応、日本が抱える課題などについて解説いただいた。エネルギーを巡る地政学リスクの高まりを踏まえ、脱炭素化とエネルギー安全保障を両立する日本のエネルギーのあり方について考える機会となった。

※次号（９月号）にて講演要旨を掲載予定

14日（火）［福岡市・九経連会議室（Web併催）］
農林水産委員会第１回企画部会
出席者：23名

河津善博部会長（トリゼンダイニング㈱会長）の冒頭挨拶の後、事務局より2022年度活動計画の進捗状況および国への要望結果を中心に報告を行った。

その後、「地域農業を地域企業で支える」というテーマで講話を実施。JA全農ふくれんの野口崇文事業開発課長および農林中央金庫の土田正典九州営業統括部長より、農業現場の現状と課題、その解決に向け今年２月に本会と締結した三者連携協定の取り組みについて、また西日本鉄道㈱の吉中美保子天神みらい戦略部長からはその具体的な事例として、「援農バケーション」の取り組みについてお話しいただいた。参加者から農産物の輸出促進等に関する質問や、農作業の脳に与える影響への関心が寄せられるなど、熱心な意見交換が行われた。

15日（水）［福岡市・九経連会議室（Web併催）］
農林水産委員会第１回林業部会
出席者：35名

中島豊部会長（九州林産㈱社長）の冒頭挨拶の後、九州大学大学院農学研究院の佐藤宣子教授より、自伐型林業の概要・各種事例等についてご講演いただいた。質疑応答では、雇用型林業との役割分担や相互補完、農山村への定住化の可能性、なぜ自伐型林業が若者に受け入れられているのか、そして他の一

次産業への水平展開の可能性等、林業の枠を超えた幅広い議論がなされた。

その後、事務局より2022年度活動計画の進捗状況、国への要望結果、ウッド・チェンジ協議会参画状況、現場視察会の開催案等の報告を行った。

17日（金）［福岡市・九州経済産業局会議室（Web併催）］

九州の食輸出協議会総会

出席者：38名

第３回目となる2022年度総会には、会員商社・賛助会員（金融機関）はもとより、市場展開へのリソース提供を担う「九州の食輸出推進チーム」（ジェトロ等６団体）等、多数の団体が参加し開催された。

2021年度事業報告・収支報告、2022年度事業計画・収支計画について審議を行い、全議案について満場一致で承認。特に事業計画については、販路拡大事業、自治体等外部機関との連携、相談機能の強化等さらなる輸出拡大に向けた具体的な意見交換が行われた。また、審議事項に留まらず、今後の商社のあり方や商社間連携についても話が及んだ。

21日（火）［福岡市・九経連会議室（Web併催）］

農林水産委員会第１回水産部会

出席者：17名

まず、事務局より水産部会の2022年度活動計画の進捗状況および国への要望書の提出結果について報告した。続くWeb講演会では、海藻養殖により磯焼け等の社会課題解決に向けた取り組みを実施している（同）シーベジタブルの友廣裕一共同代表より、事業の説明や今後の展望等についてお話しいただいた。

従来と会議の進め方を変えて、各委員による自社の状況報告や情報交換を中心に進めたところ、原材料価格の高騰や円高への対策、国の支援制度の活用や各委員の協働によるビジネス事例など活発な質疑応答があり、今後の部会のあり方を示唆する会合となった。

25日（土）、26日（日）［福岡市・九州大学西新プラザ］

地域政策デザインスクール開校式

出席者：受講生28名

今年度は、福岡県直方市、粕屋町、長崎県東彼杵町、大分県佐伯市、宮崎市と連携し、各自治体が抱える問題・課題の解決について研究し提言を行うこととした。講師陣には、㈱ENTOの岡野涼子社長、㈱飫肥社中の崎田恭平社長、（一社）スマートシティ・インスティテュートの南雲岳彦専務理事、㈱一平ホールディングスの村岡浩司社長、（一財）アジア・パシフィック・イニシアティブの向山淳主任研究員を迎え、理論、実践両面での指導を行う。

開校にあたって、当スクール実行委員会事務局長の永田晃也・九州大学教授の挨拶の後、同理事の石丸修平・九州大学客員教授が「地域政策デザインの基礎と実践」について、永田教授が「エビデンスに基づく地域政策デザインに向けて」と題し、それぞれ講義を行った。

27日（月）［福岡市・電気ビル共創館］

資源エネルギー・環境委員会第１回ＣＮ（カーボン・ニュートラル）推進研究会

出席者：22名

資源エネルギー・環境委員会の下に今年度新設されたCN推進研究会（座長：伊藤衡平・九州大学大学院工学研究院教授）の初会合を開催した。

九州経済産業局の仁田純一カーボンニュートラル推進・エネルギー広報室長より「九州地域のカーボンニュートラル推進に向けて」、（一財）省エネルギーセンターの鈴木伸隆総括主幹より「省エネの“現場”から考えるCN推進～企業・組織における８つの配慮事項～」と題し、それぞれご講演いただいた。その後、各委員から自社のCN関連の取り組みと課題についてご報告をいただき、今後の研究会の方向性などについて意見交換を行った。

28日（火）［福岡市・ホテルニューオータニ博多（Web併催）］

第１回九州ＤＸ推進コンソーシアム総会

出席者：130名

昨年11月30日に発足した九州DX推進コンソーシアムの第１回総会を開催した。

開会にあたり、倉富純男九経連会長、石橋達朗九州大学総長、服部誠太郎福岡県知事から挨拶をいただいた。総会では、事務局より当コンソーシアムの設立背景や、現在の会員数（51の企業・自治体・各種団体等）、幹事会メンバーの紹介、そして現時点までの取り組みと今後の全体計画ならびに各ワーキングの年間活動プラン等について説明し、全会一致で議決した。閉会にあたり、磯俣克平デロイト トーマツグループボード副議長から挨拶をいただいた。

※次号（９月号）にて詳細を掲載予定

30日（木）［福岡市・九経連会議室］

九州・沖縄文化力推進会議幹事会

出席者：15名

池邊綾議長（宮崎県みやざき文化振興課副主幹）の開会挨拶の後、事務局より2021年度事業活動および決算の報告を行うとともに、各幹事からも活動内容や課題、今後の取り組みなどについて報告があった。その後、2022年度事業計画・予算の見直し内容と2023年度事業計画案・予算案についても事務局より提案し、取り組みの方向性に関して合意した。

今後、2022年度および2023年度の事業計画に関する具体的活動を各県幹事に照会し、実行につなげるとともに上位会議体である九州・沖縄文化力推進会議および九州地域戦略会議へ上程する。

今回、これまでの活動状況や変化、問題点を明らかにした上で事業計画立案と提案を行い、今後のさらなる文化力推進とその実行につながる会の運営を実施した。

講演要旨

「幸せコミュニティ」の実現に何が必要か
～試練や困難にも負けないウェルビーイングの本質～

（2022年６月７日（火）創立60周年記念式典での講演）

㈱日立製作所 フェロー
㈱ハピネスプラネット
代表取締役CEO
矢野　和男



【事業環境変化への対応】

未来は予測不能であり、かつ変化の激しい現代において、既に知っていることを活用する仕組みだけでなく、変化に適応する仕組みを両立させなければならない。前向きで自律的な人材と組織をつくり、環境の変化に事業を適応させる必要がある。

【幸せに関する４つの誤解を正す】

①幸せは、生産性や創造性を高め、心身を健康にし、離職を防ぎ、株価も高める。②幸せは、楽な状態ではなく、前向きな状態である。③幸せは、訓練で身につけられるスキルである。④幸せは、テクノロジーで計測し、改善できる。

【幸せの４つの力】

幸せの持つ力は、「HERO（心の資本）」と呼ばれている。すなわち

HOPE（道は見つかると信じる力）
EFFICACY（現実を受け止めて踏み出す力）
RESILIENCE（困難に立ち向かう力）
OPTIMISM（どんな状況も前向きに楽しむ力）

の４つで、データ分析から、低い幸福感（悪い気分）の人は気分を良くする活動（気晴らし、運動）を行い、高い幸福感（良い気分）の人は、困難・面倒であっても重要な行動を行うことが明らかになっている。

【幸せの２つの種類】

幸せには２つの種類がある。「自分は幸せ、周りは不幸」と「自分は幸せ、周りも幸せ」である。生産的で幸せな集団には、信頼できる関係があり、「FINE」すなわち

FIAT（つながりが均等）
IMPROVISED（５分間会話が多い）
NON-VERBAL（会話中に体がよく動く）
EQUAL（発言権が均等）

が存在する。コミュニケーションがうまくいっていない組織には特徴がある。用件のつながりだけで、横や斜めのつながりがない。組織図通りのコミュニケーションでは、上司がつながりを独占する。

【幸せの本質】

幸せの本質とは、（仕事を通じた）前向きな１日を周りと応援し合ってつくることである。前向きな１日の構成要素を体系的に整理すると、16の行動指針で成り立つ。これは、「HERO」や「FINE」などデータに基づく知見もカバーしている。

【ウェルビーイング思考】

ウェルビーイング思考には、①労働、幸せ、経済価値が連鎖して循環する ②循環には、労働→幸せ（前向き、つながり、成長）→経済価値（財、サービス）の正しい順序がある ③循環は、前向き・つながり・成長という幸せが動かす、の３つの原則がある。

【新時代の組織とマネジメント】

今こそ、科学的知見がなかった時代のマネジメントから卒業するときである。従来の管理型、成果型のマネジメントでは、変化不適応、自律性低下、やらされ感、個人商店化をもたらし、限界がある。今後は、①目的の追求（目的と状況に応じて行動を変える）②学びの継続（成否に惑わされず、学びを成果として継続する）③行動指針の共有（行動指針を共通言語化する）④決意の共有（挑戦の対象を決め、周りと共有する）の４つの原則がある挑戦型のマネジメントが必要である。デジタルの力を活用すれば、新時代への適応を阻む①熱意のない人・職場②人とのつながりの希薄化③施策の形骸化、の３つの問題を解決することができる。



九州将来ビジョン2030に基づく「幸せコミュニティ」指標を公表
～「共生・共感・共創アイランド九州」の実現に向けて～

本会は昨年の「九州将来ビジョン2030」に引き続き、本年６月７日、創立60周年記念式典会場にて九州将来ビジョン2030に基づく「幸せコミュニティ」指標を公表した。本指標は、基本目標と「幸せコミュニティ」指標で構成されているが、本会では「九州将来ビジョン2030」の３つのありたい姿を目指し、会員をはじめ関係機関と連携して10の課題と35の具体的活動※を実行することにより「共生・共感・共創アイランド九州」の実現につなげていく。

※10の課題と35の具体的活動はこちら

■「九州将来ビジョン2030」基本目標（Key Goal Indicator）

ありたい姿

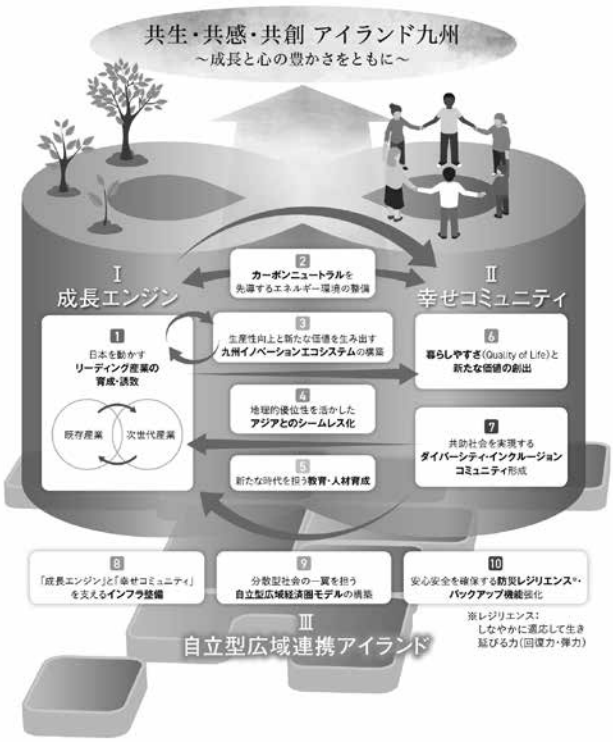
Ⅰ 新たな時代の成長エンジン
～「九州から日本を動かす」気概と情熱で地域経済社会の先進モデルを確立～

Ⅱ 心の豊かさを成長につなぐ 幸せコミュニティ
～多様な人材を活かし、新たな価値創出を促す～

Ⅲ 自立型広域連携アイランド
～九州のポテンシャルを活かし、強固な連携で成長と心の豊かさを支える～

国の想定を上回る経済成長（全国1.3%、九州2.1%）を達成し、2030年の１人当たりGRP『500万円』を目指す（2018年の九州の１人当たりGRPは360万円。現状はブロック別で全国最下位の低水準）。

〈「九州将来ビジョン2030」ありたい姿実現に向けた10の課題とその関係図〉



■心の豊かさを成長につなぐ「幸せコミュニティ」指標

●「幸せコミュニティ」指標の考え方

幸：客観指標を中心とする（幸福の“幸”パート）
偶然による「しあわせ」、他力によって生み出された「幸（さいわい）」

福：主観指標からなる（幸福の“福”パート）
能動的な「しあわせ」、自力によって生み出された「福（さいわい）」

九州では、主観指標である「福」の数値が高いが、客観指標である「幸」の数値が低い。本会では、そのギャップを埋めるべく、「幸」の向上を目指して諸事業に取り組み、総会において３年ごとに指標を公表する。

●「幸せコミュニティ」指標

■（幸福の“幸”パート）【客観指標】

分　野	将　来 ビジョン	指標・系列	主な取り組み（例示）	SDGsとの 関連性
経済・産業	課題1・2・3	都道府県別の物価水準の価格差でデフレートした可処分所得金額	左記の13分野25の指標・系列を向上するために実施する取り組み事例 ◇企業の持続的成長 →人的資本への還元 →雇用ギャップ解消 ◇DX・GX推進による企業変革力（ダイナミック・ケイパビリティ）の構築 ◇CN推進による温暖化対策 ◇枯渇資源保護の為の代替エネルギーの転換・創出 ◇新たな働き方の創出 ◇健康経営優良法人への取り組み →データヘルス・セルフメディテーション ◇子育て制度（育休など）支援 ◇女性（特に25～44歳）の就業率アップ ◇住民の生活におけるエクイティ土台づくり ◇産学官金による教育支援 ◇社会価値の創出と発展への貢献（社会貢献） ◇人間関係の希薄化解消 →地域コミュニティとの連携・関係構築 →相互に幸せを享受できるコミュニティ構築 ◇域外住民も含めた住民の域内・国外への交通網最適化 →国外・域内でのMaaSによる利便性向上 ◇多様な人材が持続的に活躍できる環境づくり ◇ワークライフバランス実現の環境づくり ◇DX推進による ・地域間“コネクティブ”構築 ・防災、減災、予防策の構築 ・アジア・世界との情報連携網構築	Goal 1・8・9・10・17
雇　用	課題1・3・5・7	長期失業率（1年以上）		Goal 1・8・10
健　康	課題6	健康寿命		Goal 3
	課題6	1人当たり医療費		
育　児	課題7	保育所待機児童数		Goal 4・5・8
	課題1・7	子どもあり世帯共稼ぎ率		
住　宅	課題6	世帯人員当たり住宅面積		Goal 11
	課題1	実収入に占める月間住宅費比率		
教　育	課題3・5	大学進学率		Goal 4・8・12
社会的つながり	課題7	ボランティア行動者率		Goal 16・17
	課題7	消費支出に占める交際費比率		
	課題7	友人等との交流頻度×頼りになる人の数		
	課題7	SNS利用頻度		
地域福祉	課題7	65歳以上の友人等との交流頻度×頼りになる人の数		
安心・安全	課題2・10	自然災害による被害総額		Goal 1・4・11・13・16
	課題10	刑法犯発生件数		
交通・移動	課題6・8・9	各地域ブロック拠点都市から2時間到達圏面積割合		Goal 9・11
	課題4・8	国際航空路線×便数		
自然環境	課題1・2・3	平均気温の変動（小さければ+）		Goal 11・13・14・15
ワークライフバランス・インクルーシブ	課題6	総合相談件数/雇用者数の対全国比+助言・指導申し出件数/雇用者数の対全国比+あっせん申請件数/雇用者数の対全国比		Goal 3・4・5・8・10・16
	課題6	平均通勤時間+残業時間+就業時間（≒仕事による拘束時間）に対する時間当たり雇用報酬（≒時間当たり労働生産性）		
	課題7	地域別GGIの絶対値の平均（ジェンダーギャップ率）		
デジタル化	課題1・4・6・8・9・10	都道府県別デジタル・ケイパビリティ・インデックス		Goal 1・4・9・10・11・17

九経連の重要な事業の一つである「要望・提言」活動の成果と住民の“移動”の利便性をリンクさせる指標として、類似幸福度指標にない（交通・移動）分野を設定

・不幸である理由「人間関係」「無力感」
・企業（に働く人の幸福感）「ワークライフバランス」より指標追加

■（幸福の“福”パート）【主観指標】

ブランド総合研究所「都道府県「幸福度」ランキング」2021

順位	前年順位	都道府県	幸福度
1	2	沖縄県	78.1
2	1	宮崎県	73.0
3	9	熊本県	72.4
4	12	山梨県	72.1
5	22	愛媛県	71.8
6	38	岡山県	71.7
6	28	長崎県	71.7
8	30	北海道	71.4
9	7	京都府	71.3
9	3	大分県	71.3
11	36	三重県	71.2
12	13	福岡県	71.1
13	21	奈良県	70.9
14	20	長野県	70.7
15	10	鹿児島県	70.2
15	5	石川県	70.2
15	13	高知県	70.2
18	10	香川県	70.0
18	4	福井県	70.0
20	6	鳥取県	69.7
21	26	栃木県	69.5
22	15	滋賀県	69.3
23	18	島根県	69.2
24	16	岐阜県	69.1
24	16	兵庫県	69.1
24	37	愛知県	69.1
27	19	和歌山県	69.0
28	22	広島県	68.8
28	46	佐賀県	68.8
30	42	千葉県	68.5
31	33	静岡県	68.4
32	38	宮城県	68.0
32	30	徳島県	68.0
34	26	群馬県	67.7
34	40	山形県	67.7
34	35	大阪府	67.7
37	8	富山県	67.1
38	43	新潟県	66.9
39	30	茨城県	66.6
40	47	秋田県	66.5
41	29	埼玉県	66.2
41	24	岩手県	66.2
43	44	青森県	66.1
44	45	福島県	65.6
45	25	東京都	65.0
46	33	神奈川県	64.6
46	41	山口県	64.6

【地域政策部　田中】

Member Introduction
会員紹介

KITOKU SHINRYO
木徳神糧

<2021年１月１日入会>

法人紹介

弊社は1882年に創業者である木村徳兵衛が立ち上げた木村徳兵衛商店を起源とし、1964年に木徳株式会社へ社名を変更、さらに2000年に神糧物産株式会社との合併を経て、現在の木徳神糧株式会社となりました。社名を新たにした翌年2001年には、JASDAQ（現在の東証スタンダード）市場への上場を果たし、2022年で創業140周年を迎えるお米の卸売会社です。

全国から仕入れたお米を、東北から九州まで計５カ所の自社精米工場や協力関係のある精米工場で精米し、スーパー・生協等に向けた家庭用製品や、コンビニ・外食チェーン店等に向けた業務用製品として販売しており、日本人の主食であるお米の安定供給に努めています。また、日本産米の輸出や外国産米の輸入にも力を入れており、「瑞穂の国」が誇る日本産米の美味しさを世界中に発信する一方で、日本国内において世界各国の素晴らしいお米文化の認知向上に努めてきました。

お米以外のさまざまなビジネスも展開しており、飼料事業部では、玄米を精米する過程で発生する米ぬかや海外から輸入した乾牧草等を、牛や豚等の家畜のエサとして国内の配合飼料メーカーに販売しています。コメ加工食品部では、自社製粉工場で製造した米粉を和菓子原料としてメーカーに販売するほか、昨今注目を浴びている小麦粉代替の用途として製パン会社等への提案も行っています。また、食事制限の必要な腎臓病患者向けの低たんぱく質食品等、お米に付加価値を付けた商品の販売にも積極的に取り組んでいます。

弊社はこれからも広域米穀卸として、お米という生活に深く根差した食品を安定供給するとともに、食を通じて消費者の皆様に、より豊かな生活を送っていただけるよう商品とサービスの提供に努めてまいります。

法人概要

法人名	木徳神糧株式会社
創業	1882年１月
代表者	代表取締役会長CEO　平山　惇 代表取締役社長執行役員COO　竹内　伸夫
事業内容	玄米や精米等の卸売業を主幹とするほか、家畜のエサとなる飼料の販売や米の加工食品の販売も行う。
従業員数	連結379名、単独271名
本社所在地	〒101-0052　東京都千代田区神田小川町２-８　木徳神糧小川町ビル
電話番号	03-3233-5121
ホームページ	https://www.kitoku-shinryo.co.jp/



代表取締役社長執行役員COO
竹内　伸夫

木徳神糧はお客様に安全・安心なお米の安定供給を続けてまいりました。きっと皆様も飲食店やコンビニエンスストアで、弊社のお米と知らずに食べていただいていると思います。日本国内の米の消費は減少を続け、非常に厳しい環境にありますが、弊社は日本国内のみならず、世界中の皆様に美味しいお米をリーズナブルな価格で食べていただくために、ベトナム、タイ、中国などの現地法人を活用し、グローバルなお米のビジネスに取り組んできました。九州から中国に向けて一日も早く日本米の輸出ができるよう、糟屋郡新宮町にある弊社福岡工場の指定に向けて準備を進めています。



九州支店（福岡工場）

Member Introduction
会員紹介

株式会社 九州日新

＜2021年１月25日入会＞

法人紹介

九州日新は、「世界をつなぐ、思いを結ぶ」をスローガンに、お客様の「思い」を届ける総合物流企業です。2003年に株式会社日新（東証プライム上場）の子会社としてアジアのゲートウェイである九州・福岡に設立いたしました。国内、海外25カ国に展開している日新グループの一員として、グローバルネットワークを活かした国際輸送はもちろん、陸・海・空の主要インフラに近接する倉庫を拠点に、幅広い国内物流サービスを展開しております。

弊社の国際物流サービスは、海上輸送・航空輸送を駆使して、お預かりした貨物を単に輸送するのではなく、その過程で必要となる集荷や梱包、通関、貨物保険等を一貫して行うことで、迅速かつ効率的な輸送をご提供いたします。取扱品目については、食品から家具、工業製品、大型設備に至るまで多岐にわたり、豊富な実績によりあらゆる企業の輸出入をサポートいたします。

また、2019年９月、福岡市北東部のアイランドシティに新たな物流倉庫を開業いたしました。常温倉庫、空調倉庫、冷蔵倉庫を完備し、国内貨物の保管や配送だけでなく、保税エリアも有することで、輸出入貨物にも対応可能な大型多機能倉庫となっております。その他、福岡市内にはトウモロコシやマイロ等を取り扱う穀物サイロや、植物検疫所燻蒸指定倉庫として、政府所有米から自主流通米まで取り扱う定温倉庫も保有しており、徹底した品質管理のもと、穀物・飼料の流通を支えております。

弊社は福岡県以外にも熊本県、宮崎県に事業所を展開しており、今後も地元九州に根差した物流企業として、九州経済の活性化に貢献できればと考えております。

法人概要

法人名	株式会社九州日新
設立	2003年６月
代表者	代表取締役社長　南　祥一
事業内容	国内物流事業（倉庫・保管・配送） 国際物流事業（海上輸送・航空輸送・通関） オフィス移転事業（引越・事務所移転・文書保管）
従業員数	125名
本社所在地	〒813-0017　福岡市東区香椎照葉３-２-１　シーマークビル２階
電話番号	092-626-1121
関連会社等	株式会社日新
ホームページ	https://www.q-nissin.jp/



代表取締役社長　南　祥一

弊社や親会社の社名である「日新」の由来は、中国の古典からとられたもので、今日よりも明日の進歩を実現する、変化に積極的に対応する企業理念をあらわしております。

その歴史は「国際総合物流のパイオニア」を自負しており、中国やアジアをはじめとした世界中との貿易のサポートや、国内物流においても安全・迅速・低コストに高品質のサービスを提供し続けられるよう自己革新を続けてまいりました。これからも皆様の物流パートナーとして、あたたかいご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



アイランドシティの物流倉庫

Member Introduction
会員紹介

<2021年１月18日入会>

法人紹介

日本香港協会は、日本と香港の文化・経済・社会面で交流の輪を広げることを目的に民間の任意団体として、1988年に東京に設立されました。1989年以降、関西・中京・九州・山形・北海道・宮城・沖縄・広島・新潟・高知と各地に協会が設立されるに至り、これら日本全国各地に広がる協会活動をサポート・コーディネートする目的で、2008年には全国連合会が発足しました。また日本香港協会は、香港貿易発展局の援助の下に設立された香港ビジネス協会世界連盟に所属しており、毎年11月末～12月上旬に香港で開催される香港フォーラムには世界各国から400名以上の会員が参加して最新の香港情勢、中国・アジアのビジネス戦略などを学び、海外の会員と友好的な交流を行っています。

当会は、1991年の設立より福岡日本香港協会として活動してまいりましたが、2008年の全国連絡会発足に伴い、2009年７月15日より活動範囲を九州一円に拡大し、九州日本香港協会として新しくスタートいたしました。国際都市香港と日本の交流は、貿易、投資、観光等を中心にますます緊密の度を深めています。九州は香港とビジネスリレーションのある企業、香港駐在経験者、ならびに香港に関心を寄せられる方々が多数集まっております。

当会の主な活動は、香港貿易発展局や各種支援機関によるセミナー開催、香港に進出している企業などとの交流であり、香港（中国）に関するリアルな情報を収集することができます。香港やアジアとのビジネスを志向されている方には、香港貿易発展局が注力している海外とのビジネスマッチングサービスもご利用いただけます。

現在、当会には49社の法人会員、41名の個人会員に所属していただいております（2022年６月25日現在）。当会は今後も香港の情報を有益に発信し、会員拡大を目指してまいります。

法人概要

法人名	**九州日本香港協会**
設立	1991年４月
代表者	会長　石原 進
事業内容	１．会員間および香港との懇親を深めるための各種行事　２．講演会 ３．文化芸術の交流　４．経営研究会 ５．その他
従業員数	２名
所在地	〒810-8629　福岡市博多区中洲2-6-10　㈱ふくや内
電話番号	092-260-3748
関連機関等	香港貿易発展局、香港経済貿易代表部
ホームページ	http://jhks.gr.jp/fukuoka/


会長　石原 進

当会は、駐福岡中国総領事館・香港経済貿易代表部・香港貿易発展局および香港政府観光局等の関係団体と緊密な関係を維持し、会員の皆様により有益かつタイムリーな情報提供を行うことにより、九州と香港の交流に力を尽くしてまいります。また、さらなる発展に向けて、これからも香港に関心のある方々に当会の趣旨をご理解いただき、会員拡大を目指してまいりたいと思いますので、ご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。


春節昼食講演会2022

沖縄観光通信

～ミス沖縄がおススメする沖縄観光情報～

（一財）沖縄観光コンベンションビューロー（OCVB）



第40代沖縄観光親善大使ミス沖縄
スカイブルー
翁長愛音

皆さま、はいたーい！ミス沖縄スカイブルーの翁長愛音です。
今回は、沖縄の伝統文化「沖縄空手」について学べる施設「沖縄空手会館」をご紹介いたします。
日々、YouTubeやFacebook、Instagramを通して、沖縄の魅力をお届けしております。ぜひチャンネル登録＆いいねをお願いします！

■「ミス沖縄公式YouTubeチャンネル」はこちら https://bit.ly/2Fa1tlW

新型コロナウイルス感染予防・拡大防止に取り組んでいます！

沖縄空手会館

〔沖縄県豊見城市豊見城854-1〕
沖縄本島南部豊見城市に位置する「沖縄空手会館」は、『沖縄空手』を独自の文化遺産として保存・継承・発展させ、「空手発祥の地・沖縄」を国内外に発信し、伝統空手の真髄を学ぶ拠点となる施設です。
沖縄の伝統文化として世界で知られている沖縄空手ですが、東京2020オリンピックの正式種目として採用されたことがきっかけとなり、認知度がさらに高まっています。８月上旬には「第２回沖縄空手世界大会」および「第１回沖縄空手少年少女世界大会」の本大会が、ここ沖縄空手会館をメイン会場として開催されます。
また、沖縄空手会館には、赤瓦の屋根が特徴的な特別道場（守禮之館）や、空手家を対象とした専門的な情報から、初心者・一般に向けたコンテンツまで、沖縄空手に関する情報を幅広く展示している資料室、景色を眺めながら食事を楽しむことができるカフェスペースもあります。
その他にも、空手体験プログラムや瓦割り体験をはじめとした体験＆各種プランも気軽にお楽しみいただけます。那覇空港から車で15分ほどの場所にありますので、沖縄へお越しの際には「沖縄空手会館」で沖縄空手の魅力に触れてみてはいかがでしょうか。







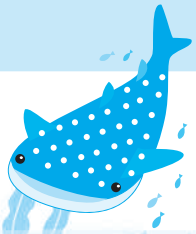
今月のおススメ

沖縄の夏といえば「海」！





周りを海に囲まれた沖縄には、県内各地にビーチが点在しており、３月下旬から10月頃まで海水浴シーズンが続きます。沖縄にはビーチサイドでバーベキューができる施設もたくさんあるため、家族や友人と一緒にバーベキューをしながら海水浴はもちろん、白い砂浜を歩いたり、海を眺めたり、マリンスポーツを楽しんだりすることもできます。また、那覇空港から車で約15分のところにある「オリオンECO美らSUNビーチ」では、マリンアクティビティの他にも親子で楽しめるトランポリンアスレチックもありますのでおススメです。それぞれのビーチの特色、時間帯や場所によって異なる「海」の表情をお楽しみください。
県内のビーチに関する情報や、海の見えるカフェ・レストランなどの飲食店の情報は「おきなわ物語」のＨＰにて掲載していますのでぜひご覧ください。
海の魅力が輝く夏のシーズンの沖縄へめんそーれー！



ミス沖縄の活動についてはこちら
ミス沖縄 検索

沖縄観光情報についてはこちら
おきなわ物語 検索

皆さまへ沖縄の魅力をお届けいたします。

地域動向

九州・山口

山口 Yamaguchi

MaaS用Webアプリ「ぶらやま」をご利用ください！

皆さんは、MaaS（マース）という言葉をご存じだろうか。MaaSとは「Mobility as a Service（サービスとしての移動）」の略で、公共交通のルートや時刻の検索、予約、決済などを一括で行うサービスのことだ。さらに、交通手段だけでなく、目的地での観光や医療、宿泊などのサービスとも結合させて、利便性を向上させることを目的としている。

山口県では、JR新山口駅の北側にある「山口市産業交流拠点施設」を核とした交流人口の拡大に向け、MaaSの実証事業を行っており、そのツールとなるのがやまぐちMaaS用Webアプリ「ぶらやま」だ。

「ぶらやま」では、目的地までの移動手段や経路検索はもちろん、観光情報の検索、バスやイベントのデジタルチケットの購入も可能。交通系のデジタルチケットには、お得な特典がついている。

例えば、「山口市内のる得きっぷLight Web」は３枚つづり千円で購入でき、さらに特典として、山口市内の飲食店や観光施設などでドリンクサービスなどが受けられる「ゆけむり手形Web」の24時間限定版がもらえる。



今年度は、新山口駅から、山口、萩、長門、宇部、美祢の各エリアを対象に実証事業を行っており、今後もチケットの種類は増やす予定だ。

ぜひ、山口県をお得に楽しんでいただきたい。

ぶらやま　https://burayama.com/

《問い合わせ先》

山口県産業戦略部　TEL：083-933-2470

福岡 Fukuoka

福岡の美味しいものが当たる！～ふくおか地産地消行けば行くほど！＆来れば来るほど！キャンペーン開催～

福岡県では、県産農林水産物の消費拡大を図るため、県内の直売所や観光農園、「ふくおか地産地消応援の店」※で、モバイルスタンプラリーと来店ポイントキャンペーンを開催する。

対象店舗に行って、スマートフォンやタブレットでＱＲコードを読み込み、スタンプやポイントを貯めると、抽選で「博多和牛」や「あまおう」などの美味しい県産農林水産物が当たる。

この機会に、福岡県の直売所や観光農園、「ふくおか地産地消応援の店」にお立ち寄りいただき、県産農林水産物を堪能していただきたい。



※ふくおか地産地消応援の店…県産農林水産物を積極的に取り扱う飲食店等

《問い合わせ先》

ふくおか地産地消キャンペーン事務局

TEL：092-260-1026

佐賀 Saga

「関係するアート展vol.2」～心が震えるほど愛おしいと感じたことはありますか～開催！

佐賀県では、障がいのある人もない人も文化芸術を楽しむことができる社会の実現を目指し、障がいのある作家が家族や施設などとのつながりの中から生み出した作品が並ぶ「関係するアート展」を今年も開催している。

「関係するアート展」は、子どもから大人まで誰もが楽しめる大人気のアート展。今回は作家本人が愛おしいと感じること・ものにスポットを当て、大切にしている想いや質感・色等を自由で多彩に表現した、オリジナリティあふれる作品を集めた。海外でも評価され、九州初出展となる羊毛フェルトでつくられたカラフルで愛嬌を感じる人形など、80点以上の作品を展示している。

開催期間中にはギャラリートークや自分だけのオリジナルバッグが作れるワークショップ、出展施設などのアートグッズの販売を実施する。

心が震えるほど「愛おしい」にあふれた「関係するアート展vol.2」。ぜひ、多くの方にご来場いただきたい。



【開催期間】

2022年８月28日（日）まで

※休館日：月曜日

【会場】佐賀県立博物館

３号展示室

【入場料】無料

《問い合わせ先》

佐賀県文化課

TEL：0952-25-7236

長崎 Nagasaki

U・Iターン者の動向や関係人口に着目したU・Iターン対策

長崎県と県内全21市町は、共同で「ながさき移住サポートセンター」を設置し、仕事や住まい探し、生活全般に関する相談に対応し、移住の検討から定住まで、きめ細やかなサポートを行っている。

2021年度のながさき移住サポートセンターや市町窓口を介したU・Iターンの相談件数は9,260件、長崎県へのU・Iターン者数は1,740人に上り、どちらも過去最高となった。

今年度は、本県のU・Iターン者に占めるUターンの割合が年々増加していることから、都市部に住む本県出身者をターゲットとした「Uターン促進キャンペーン」を展開することとしており、市町と連携した移住相談会の実施や移住関連情報の発信などを集中的に行う。

また、20～40歳代のU・Iターンが全体の６割を占めることから、子育て世代へアピールするため、子育て支援制度や子育て環境などの情報発信を強化する。

さらに、長崎県に興味・関心のある県外の人と県内の地域住民が交流できるオンラインコミュニティを新たに構築し、継続した交流を通して関わり度を強め、“ながさき暮らし”への想いを強めることで、移住につなげていく。



《問い合わせ先》

ながさき移住サポートセンター

TEL：095-894-3581　ながさき移住　検索

長崎県地域づくり推進課　TEL：095-895-2242

熊本 Kumamoto

「グランドデザイン」と「コンソーシアム」、熊本のDXがスタート！

ＤＸとは「デジタル化による変革」を意味するが、本県ではこれを目指すべき未来の姿を実現するための「最も重要な手段」と捉え、産学官が連携してＤＸを推進していくための共通の「羅針盤」として「くまもとＤＸグランドデザイン」を2021年度末に策定した。

グランドデザインでは「産業の発展を共創し県民所得を伸ばし続ける県くまもと」「ひとを惹きつける快適・安心な生活環境を共創する県くまもと」というビジョン（未来の姿）の実現に向け、農業振興、観光振興、防災などＤＸに取り組む７つの方向性を示している。

今年６月にはビジョン実現に向けた産学官連携の枠組みとなる「くまもとＤＸ推進コンソーシアム」を設立し、動き出している。

コンソーシアムではイベント・セミナー等で機運醸成を図り、情報発信、ＤＸ事例の展開、会員間での情報交換、ノウハウ共有などに取り組むほか、ビジョン実現に寄与する企業などの事業を後押しする「公募型実証プロジェクト」も展開する。

新たな共創により熊本でのＤＸの取り組みが次々に生まれるように、ぜひ、多くの企業や団体にこのコンソーシアムに参加していただきたい。



《問い合わせ先》

熊本県デジタル戦略推進課　TEL：096-333-2469

大分 Oita

「2022年全国乾しいたけ振興大会inオーガニックシティさいき」を佐伯市で開催！～原木しいたけの魅力を世界へ～

大分県は、原木栽培による乾しいたけ生産量が全国１位、全国シェアの約４割を占める日本有数の産地である。しかし近年、地球温暖化がしいたけ菌の成長に大きな影響を与え、生産量が不安定になっている。また、生産者の高齢化・担い手不足等から、植菌量自体も減少傾向にあり、さらに、食文化の変化で若者を中心に乾しいたけ離れが進むなど、乾しいたけを取り巻く状況は厳しさを増している。

このような現状の中、全国の乾しいたけ生産者の意欲を喚起し、生産拡大に向けた情報発信の場とするとともに、我が国の伝統ある食材として未来に伝えていくため、原木しいたけ栽培発祥の地といわれる大分県佐伯市において、８月６日（土）・７日（日）の２日間、「2022年全国乾しいたけ振興大会ｉｎオーガニックシティさいき」を開催する。（会場：さいき城山桜ホール）

大会期間中、佐伯市の子どもたちによるしいたけの魅力をテーマにした「しいたけミュージカル」をはじめ、しいたけハンドメイドマルシェ、しいたけクリエイティブファッション講座、しいたけ料理教室などのイベントが多数開催される。

この大会を通じて、日本のみならず世界に向けて乾しいたけの魅力を発信できればと考えている。



《問い合わせ先》

大分県林産振興室

TEL：097-506-3836

宮崎 Miyazaki

宮崎の新しいフードビジネス「宮崎ひなた餃子」

総務省が今年２月に発表した家計調査によると、2021年における宮崎市の１世帯（２人以上）当たりの餃子（ぎょうざ）への支出金額が4,184円となり、浜松市、宇都宮市以外の都市として初めて全国１位となった。また、宮崎市以外にも県内には「餃子のまち高鍋」という一大拠点もあり、県全域に餃子をよく食べるという文化が広がっている。

そして、ここ数年の餃子ブームとの相乗効果で、宮崎の餃子を全国の消費者に認知してもらうまたとない機会を得ることになった本県では、県内各地の事業者が集まり「県ひなた餃子連合会」が設立され、全国への消費拡大に向けて団結を深めている。

本県は、食料自給率や土地生産性が全国１位で、一次産業が非常に盛んである。高級食材として知られているマンゴー、牛肉、キャビアなど、高品質の産品を生産するとともに、それらの豊富な一次産品を域内で加工して新たに付加価値を高めて販売するなど、フードビジネスの振興を図っている。

そのような中、宮崎の温暖な気候や豊かな自然に育まれた食材を用いてつくられた宮崎の餃子が日本一になったことによって、宮崎の餃子のさらなる出荷量の増加だけでなく、観光や商工業振興にも寄与するものと地元では期待している。

連合会では、毎月３日を「ぎょうざの日」としてＰＲ活動に取り組むほか、宮崎県産原料を使った「宮崎餃子」の認定基準を策定し、将来的なブランド化を目指している。県では、このような協議会の取り組みを支援してきたところであり、「宮崎＝ぎょうざ県」のイメージを作り出せるように、日本一連覇を目指していく。

miyazaki Gyoza

《問い合わせ先》
宮崎県オールみやざき営業課
TEL：0985-26-7591

鹿児島 Kagoshima

種子島・屋久島でテレワークしてみませんか？

新型コロナウイルス感染症の拡大により、人の移動に制約があることで、人々の意識も変化してきている。リモートワークやワーケーションなどの新しい働き方が注目されるとともに、密になりがちな都市部から離れた地方が注目され、自然環境や生活環境などに恵まれた地方の良さが改めて見直されている。

このような中、鹿児島県では地域の関係機関と連携して、種子島・屋久島でテレワークができるよう、ワークスペースなどの環境整備に取り組んでいる。

山や海などの豊かな自然や豊富な食を堪能し、ゆったりと流れる島の時間を感じながら、普段とは違う環境で仕事ができる。

また、仕事が一段落したら気分転換にぜひおすすめしたいのがアクティビティ。サーフィンの聖地として有名な種子島ではサーフィンはもちろん、シュノーケリングやカヤックが体験できる。一方、世界自然遺産の島・屋久島ではトレッキングに加え、ガイドと一緒に集落を散策する里めぐりも人気だ。

ロケット発射場と白い砂浜、青い海の島「種子島」。悠久の時を刻む深い緑に覆われた世界自然遺産の島「屋久島」。近くても異なる、魅力あふれる２つの島でテレワークしてみてはいかがだろうか。

《問い合わせ先》
鹿児島県熊毛支庁総務企画課
TEL：0997-22-0498

沖縄 Okinawa

「最多人数による空手の型」への挑戦!!空手の日記念演武祭

沖縄を発祥の地とする空手は、厳しい鍛錬を通して強靭な身体と不屈の精神を培うとともに、礼節を重んじる「平和の武」として今日まで受け継がれ、現在では、世界中に１億３千万人もの空手愛好家がいるといわれている。空手が世界中の人々を魅了する理由は、「空手に先手なし」「人に打たれず、人打たず、事なきをもととする」などの沖縄空手の先人たちの言葉に表されるように、平和を希求し礼節を重んじる精神性や先人により創造され、育まれ、受け継がれてきた「型」にあるといわれている。己を鍛え、技を磨き、心を養う。沖縄空手の原点がそこにある。

沖縄県では沖縄伝統の空手が今後ますます発展し、世界の平和と人々の幸福に貢献することに願いを込めて、「10月25日」を「空手の日」とし、沖縄空手の素晴らしさを国内外の多くの人に知ってもらうことを目的として、「空手の日記念演武祭」を開催している。

今年度は、本土復帰50周年を迎える記念事業として「最多人数による空手の型」への挑戦を行う。国際通りを埋め尽くす圧巻の演武により、沖縄空手の魅力と平和を愛する沖縄の「肝心（ちむぐくる）」をお届けするので、ぜひ間近でご覧いただきたい。



《問い合わせ先》
沖縄県空手振興課　TEL：098-866-2232

おきなわ昆虫ナイトサファリ（美らヤシパークオキナワ・東南植物楽園）（沖縄県）

「美らヤシパークオキナワ・東南植物楽園」は、沖縄県中部の沖縄市に位置し、1968年に創業した歴史ある屋外植物園です。園内では1,300種以上５万株の植物を観賞することができ、カピバラ、リスザル、鳥などの動物とのふれあいや、天然記念物ヨナグニウマの乗馬体験も楽しむことができます。

中でも、2021年夏から開催している「おきなわ昆虫ナイトサファリ」では、沖縄に住んでいる珍しい昆虫の解説、昆虫が夜に行動する様子を昆虫トラップで観察、世界が今注目する昆虫食の体験などで昆虫の不思議を大発見できます。夏休みのこの時期にぜひご家族で「ドキドキ」を楽しんでいただきたいです。

※世界的な旅行口コミサイト「トリップアドバイザー」が今年６月14日に発表した「2022トラベラーズチョイス ベスト・オブ・ザ・ベストツアー・アクティビティ」の「人気の観光スポット」部門で、東南植物楽園が日本１位に選ばれました。

【開催期間】７月16日（土）～９月25日（日）　19:30～21:00
※土・日・祝日限定

【参加対象】４歳～小学生（保護者同伴にてお願いいたします）
※事前予約が必要です（定員に達し次第受付終了となります）。

《問い合わせ先》
東南植物楽園　TEL：098-939-2555



スケジュール（８月）

日（曜）	会合名等
１日（月）	東九州自動車道建設促進地方大会（大分市・レンブラントホテル大分）
３日（水）	九州・大学発ベンチャー振興実践会議（福岡市・電気ビルみらいホール）
４日（木）～５日（金）	九州地域戦略会議「第19回夏季セミナー」（那覇市・ロワジールホテル那覇）
５日（金）	第15回沖縄連携フォーラム（那覇市・沖縄ハーバービューホテル）
23日（火）	熊本地域委員会（熊本市・熊本ホテルキャッスル）
26日（金）	第１回九州応援団（東京都内）
29日（月）	北九州・山口合同地域委員会（北九州市・リーガロイヤルホテル小倉）
30日（火）	鹿児島地域委員会（鹿児島市・城山ホテル鹿児島）
31日（水）	大分地域委員会（大分市・ホテル日航大分オアシスタワー）

新入会員企業（６月）

自然電力株式会社
代表取締役　磯野　謙　福岡市中央区荒戸1丁目1-6　TEL：092-753-9834　従業員数：144名
事業内容：太陽光・風力・小水力等の自然エネルギー発電事業（IPP）、事業開発・資金調達、アセットマネジメント、個人・法人向け電力小売事業等

◆九経連ホームページ　https://www.kyukeiren.or.jp
◆九経連メールアドレス　info@kyukeiren.or.jp
月報・ホームページをご覧になったご感想やご意見をお寄せください。

広告

九州で約5万戸保有。福岡都市圏に多数物件あり。

恵まれた住環境と、快適性・利便性を兼ね備えた社宅向けUR賃貸住宅は、入居される社員様だけでなく、
ご担当者様や経営者の皆様へのメリットも多数ご用意しています。

社宅もUR賃貸住宅



UR賃貸住宅は、社宅としてもご利用いただけます。

社宅コストの削減!!

1 礼金・仲介手数料・更新料は不要

2 契約者が国等又は上場企業等の場合は敷金も免除可

3 複数戸契約での敷金・家賃割引制度有（5%～10%）

4 退去時の負担軽減　契約解除届提出日の翌日から起算して14日分の家賃負担でOK!!
※上記の他、別途補修費用が必要です。



アーベインルネス大橋

フリーレント 家賃1ヶ月分が0円 プラス 敷金 家賃1ヶ月分 減額

社宅制度がなくても、個人契約でおトク

UR都市機構と協定を締結した上場企業等の社員様が、個人契約をされる場合、協定書の写し及び社員証などをお申込み時にご持参いただきますと、全国のUR賃貸住宅で通常2か月分の敷金を1か月分に減額し、更に1か月分お家賃が無料となるフリーレントをご利用いただけます。企業担当者様の少ない負担で、福利厚生を充実できます。

【国等の定義】国若しくは地方公共団体又は特別の法律により設置された法人その他これに準ずる者
【上場企業等の定義】上場企業等とは、次のいずれかに該当する法人、またはその法人の子会社もしくは関連会社をいいます。ただし、日本に住所を有する法人であって国内法により設立されたものに限ります。
●各証券取引所(外国を含む)上場企業および店頭公開企業 ●新興市場(ジャスダック等)上場企業 ●非上場の生命保険会社、損害保険会社 ●資本金1億円以上の企業 ●私立学校法に基づく私立学校、農業協同組合法に基づく農協等
●公益社団(財団)法人、大規模一般社団(財団)法人、医療法人
※賃貸借契約締結後に協定特典利用のお申し出をいただいても、ご利用いただけません。ご利用にあたっては必ずご契約前にお申出ください。

街に、ルネッサンス
UR都市機構

詳しくは、UR福岡営業センターまでお気軽にお問合せください。

☎ 092-722-1101

UR九州　検索

〒810-0041福岡市中央区大名2丁目6-20 ●営業時間／9:30～18:00 ●定休日／なし（年末年始・5/3～5/5を除く）

編集・発行　（一社）九州経済連合会
福岡市中央区渡辺通2丁目1番82号電気ビル共創館　TEL（092）761-4261（代表）　FAX（092）724-2102　　印刷　ダイヤモンド秀巧社印刷（株）